

1. 次世代育成支援行動計画(後期計画)推進事業の実施状況一覧

<評価> ◎=できている ○=ほぼできている △=余りできていない ×=できていない

事業名	方向性	計画策定時の実績(H20年度)	実施状況(実績)					評価	決算額(千円)	問題点・対応等	所管課
			H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H25年度において行った拡充、見直し・改善等の内容及び特記事項等				
21109 訪問指導(妊産婦対象) 【重点】	見直し・改善	延件数 983件	977件	986件	1,063件	978件	◎	授乳に関する相談には助産師が対応し、必要に応じてサービスを提供している。経年的にも1,000件前後の対応ができています。	10,965	現状どおり継続し、子育ての早期支援に努める。	地域保健課
21110 母子健康手帳の配布 【重点】	継続	交付数 5,220件	5,114件	5,048件	4,896件	4,936件	◎	母子健康診査費用助成申請と同時に妊娠届を出す方がほとんどであり、約96%の方に妊娠11週以内で配布できている。保健福祉センターでは保健師が可能な範囲で面接し配布している。	1,277	妊婦健診と同時に母子健康手帳を交付している。申請が妊娠20週以降の方を減少させ、産後の交付(H25年度は7件)がないように周知していく。	地域保健課
21111 マザークラス(母親学級) 【重点】	継続	参加者数 523人	461人	422人	419人	387人	○	産後うつや児童虐待のパンフレットを用いた。歯科衛生士の出無を廃止し、保健師が妊婦歯科検診の説明とあわせ口腔衛生について説明をおこなった。	147	産婦人科の母親学級利用者も多く、情報収集と共に、市の講座内容の見直しをしていきたい。	地域保健課
21112 マタニティーマーク普及啓発事業	継続	ストラップ配布数 5,118件 リーフレット設置箇所数 37箇所	4,969件 41箇所	4,916件 41箇所	4,738件 38箇所 ポスター掲示 駅6箇所 市内約200箇所	4796件 38箇所 ポスター掲示 駅6箇所 市内約200箇所	◎	母子健康手帳交付時にストラップとステッカーを全員に配布している。JR、私鉄各線や市内約200ヶ所にマタニティーマーク啓発ポスターの掲示を依頼、支所や公民館にリーフレットを設置するなど啓発に努めている。	635	今後も引き続きマタニティーマーク啓発ポスターやリーフレットの設置などに努めていく。	地域保健課
21113 妊婦歯科検診	新規実施	(H25年度新規追加事業)	—	—	—	市内委託医療機関にて実施 受診者数 1,046人	○	妊婦歯科検診のご案内ポスターを、市役所内掲示板・委託医療機関に掲示し、啓発。	5,082	同様に継続実施する。	地域保健課
2節 育児不安の解消や子供と母親の健康確保											
21201 親子の歯の教室	継続	開催回数 22回 参加者数 164組 346人	23回 197組 405人	23回 206組 429人	23回 159組 329人	23回 150組 311人	○	定員には少し余裕があるが、不安が多い方に対し、相談体制の充実につなげることができている。	734	乳幼児健診での歯科要フォロー児の利用が少ない。	健康増進課

1. 次世代育成支援行動計画(後期計画)推進事業の実施状況一覧

<評価> ◎=できている ○=ほぼできている △=余りできていない ×=できていない

事業名	方向性	計画策定時の実績(H20年度)	実施状況(実績)					H25年度において行った拡充、見直し・改善等の内容及び特記事項等	評価		決算額(千円)	問題点・対応等	所管課
			H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H25年度		H25年度	問題点・対応等			
21202 ストレスチェック事業(4か月児健診)	継続	受診者数 4,557人 個別相談 299人	4,546人 291人	4,399人 301人	4,353人 286人	4,353人 319人		◎	4か月児健康診査で、安定して実施できている	600		健康増進課	
21203 子どものアレルギー講座	継続	実施回数 4回 来所者数 延188人	4回 延194人	4回 延168人	4回 延143人	4回 延137人	講座申込者にアレルギーの原因の一つであるダニ検査が受けられるように実施内容を見直した。	○	参加者数は昨年度より減っているが、申込者数は減っていない。アンケートから参加者の満足度は高い。	411	マンネリ化した内容と会場の見直し。	地域保健課	
21204 小児気管支ぜん息予防健康診査(4か月、1歳半、3歳)	継続	受診者数 4か月1,965人 1歳半1,492人	(4か月) 2,065人 (1歳半) 1,624人	(4か月) 1,863人 (1歳半) 1,423人 (3歳) 1,696人	(4か月) 1,793人 (1歳半) 1,423人 (3歳) 1,544人	(4か月) 1,901人 (1歳半) 1,400人 (3歳) 1,645人	出務するスタッフに積極的な研修参加を促し、対象者に指導助言できるようにした。	○	特になし	14,052	公健予算事業の中で削減対象事業になる可能性あり	地域保健課	
21205 育児発達相談(個別・集団) 【重点】	見直し・改善	相談回数・人数 (個別)138回 延488人 (集団)131回 延656組	(個)168回 延516人 (集)119回 延627組	(個)198回 延587人 (集)122回 延596組	(個)195回 延587人 (集)120回 延509組	(個)207回 延577人 (集)98回 延431人	(個別)平成24年度同様に実施回数を増加した。 (集団)地域の実情に合わせて事業のスリム化を図り、「ぼかぼか広場」と「ぐんぐん広場」を統合し、対象年齢を概ね2歳10か月から4歳未満と変更して実施した。	個 ○ 集 ○	(個)実施回数を増やすことで、より多くの人を利用しやすくなっている。しかし、今後は他事業との兼ね合いも考えた上で実施回数の検討が必要である。 (集)クール終了毎に年間3回、担当保健師と委託心理士・保育士で会議を実施。ケース検討を行い、活発に意見交換がなされていたため。	5,599	(個)相談利用者が多いこともあり、個別育児相談の実施回数を増やしている。しかし、心理士が乳幼児発達相談にも出務しているため、平成25年度から乳幼児発達相談での相談対応も行っている。そのため、他事業との兼ね合いも考えた上で、実施回数の検討が必要である。 (集)児童デイの増加、H27年度児童発達支援センター設立を背景に、今後市のフォローを各関係機関でどのように実施していくのかを調整する必要がある。ニーズに応じて対象年齢や実施方法等について検討していく。	地域保健課	
21206 子育て講座「よちよち広場」	継続	参加者数(児) 延2,010人	80回 延1,550人	83回 延1,621人	84回 延1,433人	86回 延1,788人		◎	子育て総合センターとの共催で実施しており、参加数は増加傾向となっている。年度末には子育て総合センターや児童館の担当者との意見交換をし、内容を見直している。	725	会場によっては参加者数が多く、保健師等の講和を落ち着いて聞ける環境ではないが、母子の交流の場としては良いきっかけ作りができていると考える。参加者の中にはリピーターも多いため、内容の見直しをしていく必要がある。	地域保健課	

1. 次世代育成支援行動計画(後期計画)推進事業の実施状況一覧

<評価> ◎=できている ○=ほぼできている △=余りできていない ×=できていない

事業名	方向性	計画策定時の実績(H20年度)	実施状況(実績)					評価	決算額(千円)	問題点・対応等	所管課	
			H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H25年度において行った拡充、見直し・改善等の内容及び特記事項等					
21207 10か月児アンケート健康診査【重点】	事業終了	(H21年度新規事業)	受診率 87.8%	89.7%	90.0%	(H25年度廃止)	アンケート結果等の分析のみ実施	○	分析途中ではあるが、分析内容等の発表を実施(学術講演会)	202	引き続き分析を行い、最終結果としてまとめる	地域保健課
21208 10か月児アンケート健康診査フォロー事業(すくすく相談会)	事業終了	(H21年度新規事業)	相談人数 313人	379人	311人	(H25年度廃止)	【廃止の理由】 乳幼児発達相談と統合したため。	—	—	—	—	地域保健課
21209 精神発達相談【重点】	継続	実施回数 21回 相談人数 延43人	24回 延50人	20回 延41人	21回 延45人	22回 延57人		○	療育機関より身近な保健福祉センターで医師に相談できる機会となっている。必要時専門機関へつないでいる。	941	医師の確保が困難である。今後医師の継続が困難であれば事業内容の変更も要検討。保護者が必要性を認識していない場合には紹介しにくい。	地域保健課
21210 ぜん息アレルギー相談	継続	実施回数 12回 相談人数 延44人	12回 延25人	12回 延26人	12回 延46人	12回 延50人	24年度まで1箇所の保健福祉センターで実施していたが、市民に身近なところで相談できるよう3箇所の保健福祉センターで実施することとした。	◎	実施会場を増やしたことにより、利用者数が増えた。	5,180	ぜん息予防健診で対象者を抽出してぜん息相談につなぐ。広報の仕方を検討し、更なる集客を狙う。	地域保健課
21211 ぜん息児童キャンプ	継続	参加児童数 31人	34人	34人	37人	36人		◎	専門スタッフとキャンプ専用の施設を利用し、安心して楽しくぜん息の自己管理など学習が出来る。	3,696	事業終了後、自己管理方法を継続的に実践できるよう動機付けが必要。H27年度以降は、補助金の額によって継続実施もしくは、他事業への移行、終了を検討していく必要あり。	地域保健課
21212 定期予防接種事業【重点】	継続	接種人数 延54,599人	三種混合、麻しん風しん混合、日本脳炎など 延74,710人	延73,932人	延87,940人	延95,421人	子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンが新たに定期接種に加わった。	◎	生後1ヶ月生まれの乳児を対象に個別通知を行うほか、接種年齢が高い世代に対しても個別通知を行っている。			健康増進課

1. 次世代育成支援行動計画(後期計画)推進事業の実施状況一覧

<評価> ◎=できている ○=ほぼできている △=余りできていない ×=できていない

事業名	方向性	計画策定時の実績(H20年度)	実施状況(実績)				H25年度において行った拡充、見直し・改善等の内容及び特記事項等	評価	決算額(千円)	問題点・対応等	所管課
			H22年度	H23年度	H24年度	H25年度			H25年度		
21213 乳幼児発達相談	継続	実施回数 24回 相談人数 延244人	34回 延262人	32回 延242人	29回 延191人	53回 延443回	10か月児アンケート健康診査が個別化となった。それに伴い、10か月児アンケート健康診査フォロー事業と統合し、医師・理学(作業)療法士・保健師・看護師・栄養士・心理士・歯科衛生士・保育士が従事している。	◎	4,919	専門職(医師やPT・OT)の確保が困難である。 2歳代前半の集団広場が事業としてないため、当事業でカバーを検討したが、個別相談の場であるため、集団指導が困難である。	地域保健課
21214 訪問指導 (新生児・乳幼児対象) 【重点】	見直し・改善	訪問件数 1,409件 (乳幼児等)	1,400件	1,317件	1,431件	1,764件		◎	— (訪問指導(妊産婦)を含む)	現状どおり継続実施する。	地域保健課
21215 保健福祉センターの設置・運営 【重点】	継続	設置箇所数 2箇所	4箇所	5箇所	5箇所	5箇所		○	—	地域の実情に応じた保健活動を継続する。	地域保健課
21216 4か月児健康診査 【重点】	拡充	実施回数 72回 受診率 96.1% 受診人数 4,521人 受診率 96.3%	84回 4,411人 97.2%	84回 4,374人 96.4%	96回 4,353人 98.2%		健診未受診者に対しては、未受診児調査票を送付し、未返信者には電話や訪問等にて状況を確認している。また、未把握者については、児童母子支援課と連携を取り、10か月児健康診査でも把握をしている。	◎	8,545	スタッフのスキル向上と、安全かつ効果的な健診の実施が必要。受診率向上への対策と他課と連携のもと、居所不明児の実態把握が必要である。	地域保健課

1. 次世代育成支援行動計画(後期計画)推進事業の実施状況一覧

<評価> ◎=できている ○=ほぼできている △=余りできていない ×=できていない

事業名	方向性	計画策定時の実績 (H20年度)	実施状況(実績)					評価	決算額 (千円)	問題点・対応等	所管課
			H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H25年度において行った拡充、 見直し・改善等の内容及び特記 事項等				
21217 1歳6か月児健康診査 【重点】	拡充	受診率 95.1%	実施回数 90回 受診人数 4,559人 受診率 95.5%	94回 4,342人 97.6%	96回 4,449人 95.3%	96回 4,376人 96.1%	H25.10より1歳9か月時点で健診未受診の者に対して、電話や文書による受診勧奨を実施。	○	12,523	受診率向上への対策と他課と連携のもと、居所不明児の実態把握が必要である。	地域保健課
21218 3歳児健康診査 【重点】	拡充	受診率 91.7%	実施回数 78回 受診人数 4,594人 受診率 91.9%	82回 4,421人 92.0%	84回 4,404人 93.6%	84回 4,218人 91.3%	3歳8か月時点で未受診の児に対しては、電話や文章で受診勧奨をしている。前年度と同様に健診未受診者に対しては、未受診児調査票を送付し、未返信者には電話や訪問等にて状況を確認している。併せて保育所入所状況について新制度準備課へ、幼稚園就園状況については学事課へ入所の状況を照会し把握している。	○	12,938	受診率向上への対策と他課と連携のもと、居所不明児の実態把握が必要である。	地域保健課
21219 10か月児健康診査	新規実施	(H25年度 新規追加 事業)	—	—	—	50医療機関 で実施 受診者数 4,023人 受診率 90.5%	カルテの内容変更 新たに開院された医療機関での 実施	◎	23,147	同様に継続実施する	地域保健課